

カナダでの INTAPT コースに参加して

長崎大学病院第二内科 角川 智之

この度、カナダのトロント大学で開催された INTAPT (Interprofessional Applied Practical Teaching and Learning in the Health Professions) コースに参加させて頂きました。

現在私は長崎大学病院第二内科で学生の臨床実習教育担当教官をしており、毎日学生教育に携わっています。私は臨床医としてのトレーニングは積んできており、医学部学生に対して臨床医学的な内容を指導することに関してはある程度の自信がありますが、教育方法に関しては素人です。単に自分の知識を伝えるのではなく、より効果的に伝える方法を学び、より楽しく充実した臨床実習を提供できれば、それが将来的に長崎で働く若手医師の増加にもつながると思いますし、長崎県の医療の発展に役立つことができると考えました。今回指導者対象コースとしてトロント大学での医学教育の方法論を学ぶ機会を与えて頂けるとのことで、ぜひ勉強し、よりよい教育を提供できるようにしたいと考え、応募させて頂きました。

このコースは10月と3月の2回、各1週間開催されますが、非常に密度の濃い充実した内容でした。3月に行われた2回目の講習会では、少人数でのグループでワークショップを開く必要がありました。私達のグループは医学教育における「フィードバック」をテーマにしたワークショップを行いました。各グループ4時間のワークショップ発表を行う必要があり、カナダ人と月1回 Skype 会議を行いながら約半年間かけて準備を進めました。もちろん打ち合わせも発表も英語で行うわけで、かなり大変でしたが、大変よい勉強になりました。それ以外にも医学教育に関する論文提出など数多くの宿題があり、英語でそれらをこなすのはかなり大変でしたが、医学教育に関する知識と理解を深めることができ、有意義でした。

これまで医学教育理論などを意識して教育を行ったことはありませんでしたが、医学教育に関しても多くの研究者がより良い教育方法を模索し、理論や方法論が開発されてきたことを知り、大変勉強になりました。

INTAPT で学んだことを生かして、今後の長崎大学病院での医学教育を更に発展させていけるように努力したいと思います。

最後になりますが、このような貴重な機会を与えて頂きました新鳴滝塾の方々に感謝致します。